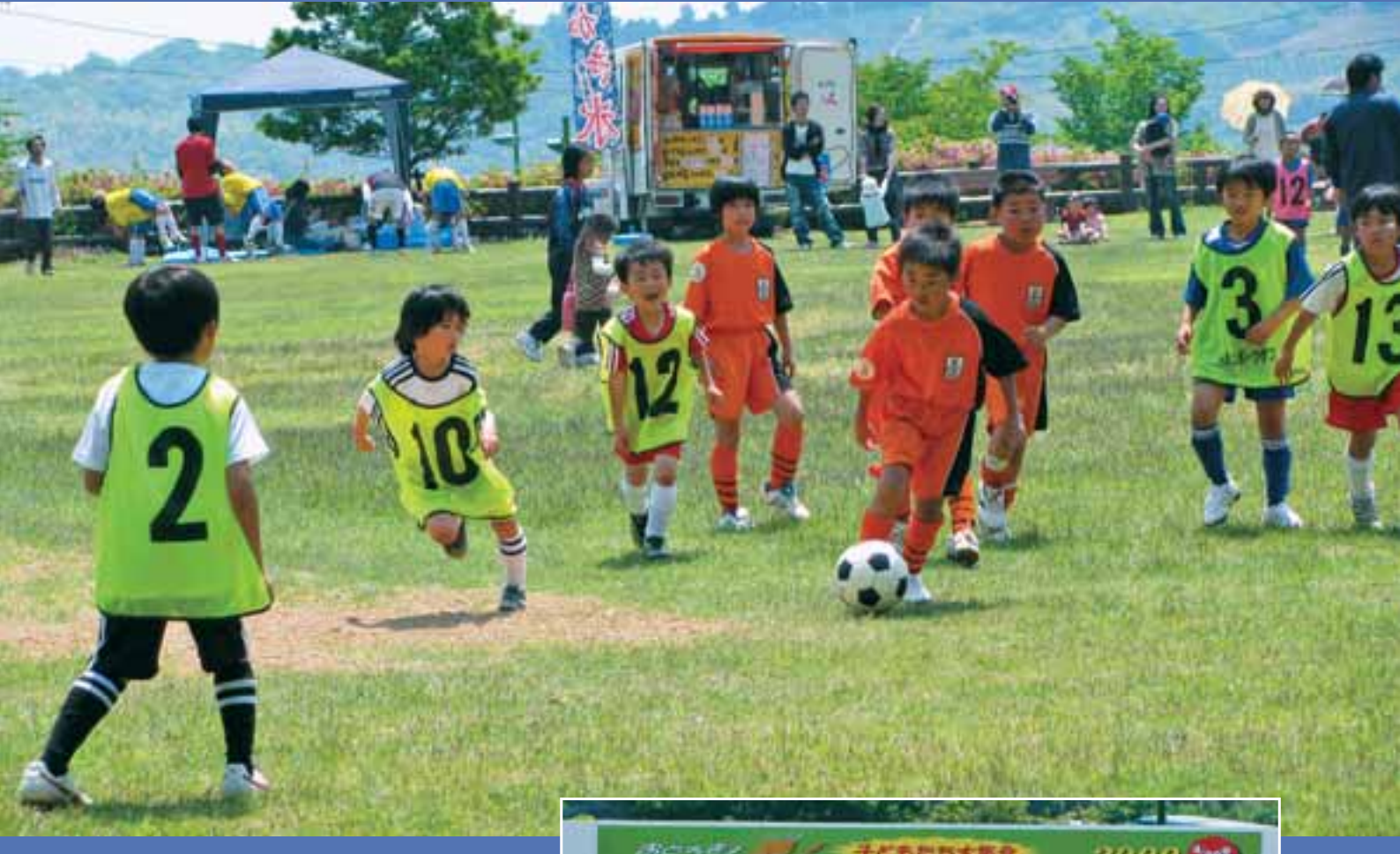




うと市議会だより

編集／議会だより編集委員会
発行／宇土市議会 平成21年5月15日発行
宇土市浦田町51番地
TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313
<http://www.city.uto.kumamoto.jp>



ふるさとフェスタ in つつじヶ丘

4月29日(水)、つつじヶ丘公園一帯で交流ジュニアサッカー大会や豪華景品がもらえるスポーツゲーム、ダーツや射的などのゲームが行われ、多くの人で賑わいました。



CONTENTS

- P 2 ～ 3 平成21年第1回定例会
- P 4 代表質問
- P 5 ～10 一般質問
- P 11 ～12 委員会報告
- P 13 議案議決結果
- P 14 陳情議決結果
編集後記

平成21年 第1回定例会

第1回市議会定例会を3月2日から18日まで17日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、平成21年度一般会計予算など予算関係25件、宇土市介護保険条例の一部を改正する条例など条例関係8件、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについての人事案件1件、その他3件が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。

なお、議案の主な内容は下記のとおりです。

条例

◆宇土市個人情報保護条例の一部を改正する条例について

統計法に基づく統計調査で取り扱う個人情報については、本条例を適用しない旨の条文を設けているが、統計法が全面的に改正されたため、当該条文を改めるもの。

「指定統計調査」を「基幹統計調査」に改める改正など。

◆宇土市次世代育成支援対策推進協議会設置条例の一部を改正する条例について

宇土市次世代育成支援後期行動計画の策定に伴い、宇土市次世代育成支援対策推進協議会の所掌事務を拡大するなど所要の改正を行うもの。

- ・所掌事務に「宇土市次世代育成支援行動計画」の策定業務を追加
- ・専門部会の設置に関する規定を追加
- ・その他文言の整理



◆宇土市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例について

介護報酬額の改定に伴う介護事業経費

の増額分を補い、介護保険料の増額を抑止するため、国から交付金が交付されるこの交付金を管理するため、基金を創設するもの。

- ・基金の額、管理、運用益金の処理、繰替運用などについて規定
- ・平成24年3月31日限りで失効（残額は、国庫に返納）

◆宇土市介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険料率は、3年ごとに改定しており、今期が見直しの時期となっているが、現行の保険料率は据え置いたまま、適用年度を改めるもの。

- ・平成18年度から平成20年度まで↓平成21年度から平成23年まで
- ・附則における特例の規定
- ・基準額52、800円の区分に該当する人のうち、一定の条件(所得金額が80万円以下など)に該当する人については、保険料率を47、500円に減額

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

水道使用料及び下水道使用料の収納率向上を図るため、非常勤の特別職として「水道使用料等徴収員」、「下水道使用料等徴収員」を置き、報酬額を規定するもの。

◆藩窯網田焼復元検討委員会設置条例について

網田焼の復元により、市の伝統・文化の継承・保存に寄与するため、藩窯網田焼復元検討委員会を設置するもの。

【主な規定内容】

- ・所掌事務 網田焼の復元に関する協議・助言、ほか
- ・任期 2年
- ・その他 委員長、副委員長、会議などについて規定
- ・附則 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正により、報酬額を5、100円と定める。



人事

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

尾崎牧子（敬称略）

その他

◆宇土市道路路線の廃止及び認定について

【廃止する路線名】

- ・鎌田・高柳線

【認定する路線名】

- ・前原2号線
- ・百合丘中央線ほか百合丘関連の9路線
- ・鎌田・高柳線（終点の変更）

予 算

◆平成20年度宇土市一般会計補正 予算(第6号)について

歳入歳出それぞれ2、401万6千円を増額し、総額を141億562万1千円とする。補正の内容は、定額給付金及び子育て応援特別手当の支給に係る事務費を補正するもの。

◆平成20年度宇土市一般会計補正 予算(第7号)について

歳入歳出それぞれ3億190万3千円を減額し、総額を138億371万8千円とする。補正の主な内容は、宇城広域連合負担金2、482万7千円、鶴城中学校耐震補強改修事業経費4、546万5千円の減額である。

◆平成20年度宇土市一般会計補正 予算(第8号)について

歳入歳出それぞれ8億2、281万9千円を増額し、総額を146億2、653万7千円とする。補正の内容は、国の2次補正に伴う地域活性化・生活対策臨時交付金、定額給付金、子育て応援特別手当に係る予算を措置するもの。



定額給付金受付

平成21年度 一般会計当初予算

128億5,600万円 (137億円)

特別会計(10会計) 86億8,283万6千円 (91億 34万5千円)

企業会計(上水道) 5億7,919万円 (5億8,925万2千円)

※企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計

※各予算額の()内は、平成20年度予算

◆一般会計当初予算歳出概要

予算総額は128億5,600万円で、前年度当初予算と比較すると、金額で8億4,400万円の減額となっています。

費目 (歳出概要)	予算額	歳出の主なもの
議会費	171,654 (173,427)	議会運営に伴う経費
総務費	1,349,863 (1,791,880)	地方バス路線維持対策事業、交通安全対策事業、衆議院議員選挙費、船場川浮き灯籠事業
民生費	4,402,883 (4,198,030)	障害者福祉サービス事業、私立保育所運営費負担金、後期高齢者医療広域連合負担金、生活保護事業(扶助経費)
衛生費	1,015,712 (1,022,281)	健康増進事業、浄化槽設置事業、廃棄物減量化対策事業、宇城広域連合負担金(浄化センター)、簡易水道特別会計繰出金
農林水産業費	535,209 (610,541)	中山間地域等直接払制度事業、走湯大河洲県営排水対策特別事業、網田ふるさと農道整備事業、地籍調査事業
商工費	332,069 (335,927)	中小企業等預託融資事業、悪質商法被害防止事業、コミュニティハウス事業、公共サイン整備事業
土木費	806,561 (1,440,906)	臨時地方道整備事業、境目団地政策空家改修事業、準用河川改修事業、花いっぱい運動事業、自然災害防止事業
消防費	482,125 (471,271)	消防防災施設整備事業(防火水槽設置)、総合防災訓練事業、宇城広域連合負担金(消防費)
教育費	1,677,992 (1,470,464)	宇土小学校耐震改築事業、網津小学校耐震改築事業、史跡宇土城跡保存整備事業、そろばんの時間指導員派遣事業
公債費	2,061,919 (2,165,260)	公的資金補償金免除繰上償還

※予算額の()内は、平成20年度予算 単位：千円

代表質問

施政方針・教育行政の方針について



(愛市同友会)
野添正利 議員

子育て支援について

野添議員 急激に少子化が進行している状況での子育て支援の充実策は、**田口市長** 子育て支援課として組織強化を行い、新たな子育て支援として、宇土東小学校校区に2つ目の学童クラブを創設。また、病児病後児保育事業、ファミリーサポートセンター事業等を実施し、子育て支援策の更なる充実に取り組んでいく。

高齢化への対応について

野添議員 高齢化が進み、来るべき高齢化社会に対応した地域福祉のまちづくりビジョンについて
田口市長 地域福祉計画の見直しを平成21年度に行うが、市民の皆さんや策定委員等のご意見を反映させて、高齢化社会に対応した地域福祉のまちづくり計画を作成したいと考えている。



国道3号から直接、宇土駅へ乗り入れる120m道路

宇土駅周辺地区整備事業について

野添議員 宇土市の新しい顔として、玄関口として、極めて重要な事業であるが、その進捗状況は、**田口市長** 道路の形状も国道3号から見えるようになり、いよいよ今年の秋には、駅東側からの乗降が可能になる。九州新幹線効果を活かすため、駅東から空港への直行便等についても、バス事業者と協議を進めていく。駅周辺の民間開発については、現在、関係機関との協議が進められているが、市の玄関口に相応しい開発を大いに期待している。

消費者問題について

野添議員 振り込め詐欺やオレオレ詐欺、また、巧妙化した悪質商法が社会問題となっているが、本市の取り組みはどうか。

田口市長 本市では、消費者生活相談窓口を平成19年度より設置。相談件数は平成19年度155件。相談内容は、多重債務・架空請求等の相談割合が多く、こうした状況を踏まえ、週2日の相談日を、21年度より週3日に拡充し、相談窓口の充実に努めていく。

農業振興について

野添議員 農林水産省が、食料自給率の目標を45%に引き上げる検討を行っているが、地産地消を含めた本市の取り組み状況は、**田口市長** 県の総合自給率は現在58%で、平成22年度に県レベルで64%に目標設定され、市でも推進している。地産地消としては、特に給食センターで地元産の米を100%使っている。農産物は、胡瓜、ミニトマト、ミカン等の地元産を時期に合わせて納入している。

雇用問題について

野添議員 100年に一度の経済危機の中、大きな社会不安となっているが、本市の取り組み状況は、

田口市長 1月5日に宇土市緊急雇用対策本部を設置し、同時に相談窓口を開設している。また、宇城公共職業安定所を通じて期間臨時職員を募集し、現在、8名の方を任用している。今後、国・県の動向も踏まえ、新たな雇用創出を図りたいと考えている。

入札制度について

野添議員 電子入札制度の導入による入札の透明性や競争性の確保効果について
田口市長 県内では3番目の導入になる。電子入札システム上で、事業者が互いに顔を会わせることなく一連の入札行為ができ、更に今までより詳細な入札結果情報を公表できることから、談合防止及び競争性、透明性の確保を高めることに繋がると考えている。

教育行政について

野添議員 世界に羽ばたく人材の育成に向けての取り組みについて
木下教育長 プランでは、郷土を愛し、市の将来、ひいては日本や世界を背負って立つ人材を育てていくことが重要であると考え、基本理念を「郷土を愛する心、豊かな心を持つた世界に羽ばたく人を育む」としている。この基本理念のもと、学校・家庭・地域が連携を図り、市全体で人材育成に取り組んでいく。



宇土市の活性化に話題・情報を積極発信（熊本日新聞 3/23掲載）

メディア活用への検証・分析、そして対策を提案



（無所属）

九谷新吾 議員

新幹線開通を契機とした活性化策について

情報の発信ができるようにしていきたい。

メディア戦略からの地域活性化策について

九谷議員

新聞あるいは雑誌等に

掲載された宇土市関連記事について、市としてどのような保存・活用を行っているのか。今後、市として情報の共有化を図るために、一元管理をしていくことについて、どのように考えているのか。

池田総務企画部長

情報の保存

について、画一的なマニュアルは作成していないが、各所管において適切な保存・活用が行われていると考えている。

また、情報の共有化を図るために、一元管理をしていくべきではないかということであるが、どの程度のことが必要なのか、方法や経費面も含め、検討していきたい。

九谷議員

メディア戦略への検

証・分析、そして対策が必要と思われるが、今後、情報の発掘・管理など、発信の仕組みづくりを構築すべきではないか。

池田総務企画部長

今後、マス

コミ関係者等による情報戦略の必要性、情報提供の仕方等の職員研修を行い、全体的なスキルアップを図ることが必要であると考えている。身近にある様々な地域の資源を、観光資源として十分な活用をしているのか、あまりにも身近にあるために、かえって見過ごしているものも多々あるのかもしれない。今後、それらを発掘・検証し、地域の情報として発信していくことも重要であると考えている。メディアへの情報提供は、市の財源を使わず、県内に、そして全国に情報を発信できるものである。このメリットを最大限に活用できるよう、一歩踏み込んだ

九谷議員 駅を中心とした都市基盤の整備が進んでいるが、点から線、そして面へと多彩な宇土市の魅力再発見へ繋げるプロジェクトを構築すべきではないか。

田口市長

宇土市はまさに交通

結節点にあって、地域的優位性を持っている。日本有数の観光資源である阿蘇と天草とを結ぶ動線上にある本市の立地条件を活かすべく、新幹線開業を大きな契機として、宇土は宇土らしい観光の素地をしっかりと整え、県外のお客さんも十分に呼び込めるようにしなければならぬ。今後、庁内組織でしっかりと連携を取りながら、新幹線開業に向けた取り組みを行っていききたいと考えている。



中高一貫教育を併設した県立宇土中・宇土校

教育のチャンスをもっと多くの子どもたちに



(無所属)

上村雄二郎 議員

新年度予算と教育環境 について

―就学助成の拡大を―

上村議員 市の将来、ひいては日本や世界を背負って立つ人材を育てていくことが宇土市の大きな使命である。昨年、宇土市は教育立市を宣言し、本年「教育立市プラン」を策定した。しかし、子ども達の教育が、専修学校や大学へと拡大している中で、高校生のみを対象とした宇土市の奨学金制度は、高等教育を受けるための支援策としては不十分である。時代に合った内容にすべきではないか。

山内教育部長 現在、宇土市が行っている奨学金制度は、高校生を対象とする奨学金制度で、奨学金の対象となる者は、学力が優秀な資質を有し、経済的な理由により学資支弁が困難な者

であることを条件に、学校から推薦があった者に対し、市教育委員会が選考のうえ、市長の承認を経て、毎年4名の奨学生を決定している。給付額は年額10万円、高等学校在学期間の3年間、給付を受けられる。市として新しい取り組みについては、現時点では考えてはいないが、他自治体の取り組みを参考に、子どもたちが安心して就学できるように支援制度について今後検討していく。

家庭ゴミ収集について ―循環型社会を目指して―

上村議員 昨年の燃料費の高騰など、社会情勢がめまぐるしく変化している中で、各種ゴミ収集について、計画の見直しがあるのか。また、家庭生ゴミの処

理施設である網田のJA健康土づくりセンターの主要機械が昨年から故障し使用中止の状態であるが、循環型社会づくりを目指し、宇土市も設備の一部を負擔している。今後、計画の見直しはあるのか。

小沢市民環境部長

総合計画に

沿った施策事業のため、費用対効果を検証しながらも資源項目を増加して、ゴミの減量化を図ることが必要である。種々の経費を要するが、これらの施策は清掃センターの負荷軽減と最終処分場の延命を行うことであり、新たな施設の建設時期を先に延ばし、大きな負担を軽減することでもあるため、宇土市総合計画に沿った経費負担の軽減を図りながら、事業展開を検討していきたいと考えている。生ごみの堆肥化については、JAの健康土づくりセンターの主要機械が故障しており、現状では、宇土市に対して休止依頼を出されている。市としては、JAでの堆肥化が困難な状況下で近隣の類似施設を探し、休止期間中の堆肥化処理をお願いしている状況である。



くらしの相談窓口（勤労青少年ホーム1F）

消費者のための相談窓口の強化・充実を

消費者行政活性化事業 について



（公明党）
芥川幸子 議員

基金」を活用して取り組む事業の計画について

園村経済部長 関係各課の事業を取り纏めており、早急に展開できるように準備をしている。

子育て環境づくりに ついて

芥川議員 県外の医療機関で妊婦健診を受診する場合も県内と同様の助成をお願いしたい。

太田健康福祉部長事務取扱 熊本県医師会と契約した健診内容及び金額を上限とし、同様の助成を考えている。

芥川議員 初めてお父さんになる方へ、父子手帳の配付をお願いしたい。

太田健康福祉部長事務取扱 20年5月より「パパ手帳」を配付しており、新年度も継続して配付する予定。

芥川議員 5歳児健診のモデル事業の実施状況と、今後の取り

組みについてお聞きしたい。
太田健康福祉部長事務取扱 新年度は、今回のモデル事業を踏まえ、5歳1カ月児全員を対象に毎月2回の実施を行う。

教育のまちづくりに ついて

芥川議員 通学時の安全を守るために、本市において通学路の点検はされているのか。

山内教育部長 通学路安全マップ等を作成し、各学校で定期的に通学路の点検を行っている。

芥川議員 こども議会の今後の取り組みについて。また、本市のこども議会の模様をホームページ等で全国に発信して欲しい。

山内教育部長 子どもと学校及び市と教育委員会が共に作り上げていく子ども議会を目指していき、ホームページでの広報活動も積極的に行っていきたいと考えている。

芥川議員 「放課後子ども教室」の現状と今後の予定について
山内教育部長 昨年5月より、網田小学校で週2回実施しており、継続して実施する。

芥川議員 本市の「緊急雇用対策相談窓口」の設置状況及び雇用対策の状況について
園村経済部長 今年初め「宇土市緊急雇用対策本部」設置と同時に相談窓口を開設。緊急雇用対策として、市期間臨時職員15名を募集。今後、宇城公共職業安定所及び関係機関と連携を密にし、雇用の創出を図っていく。

雇用対策について

園村経済部長 平成19年4月より消費生活専門相談員による相談業務を始めており、新年度より相談日を週3日に増やし充実を図る。

芥川議員 国の「緊急雇用創出



宇土市地域職業相談室（勤労青少年ホーム2F）

地域産業の現状把握と情報提供を

緊急経済対策で市民の不安払拭を



（新世紀クラブ）

西山宗孝 議員

西山(宗)議員 世界的な経済危機の影響を受け、不況の一途をたどる日本経済。地方都市においても市民的な不安が日々、増幅しているが、本市における現状は。

園村経済部長 本市のH16～18・19の事業所ベースの調査では、事業所数、売上げともに年々減少している。農水産業においても昨年度の燃油高騰による影響も落ち着いてきたものの、生産・販売額ともに対前年度で横ばいか、減少になっている。

西山(宗)議員 定額給付金を含む国の「第2次補正」による経済支援が始まるが、本市における今後の取り組みは。

園村経済部長 「原材料価格高

騰対応緊急保証制度」における

支援策や、公共事業による雇用

創出基金事業など多岐にわたる。

特に雇用については、昨年末に

ハローワークにより本市に設置

された「宇土市地域職業相談

室」や、1月5日に設置した緊

急雇用対策本部を中心に促進を

図りたい。福祉、農水産業にお

いても、国・県の制度を活用し、

積極的な支援を講じていきたい。

経済支援の体制強化と行動を

西山(宗)議員 いよいよ地方都市へ、経済不況の影響が加速されるどころ、総合経済対策としての実働体制をもっと強化し、本市の経済状況の把握や市民が求める情報の提供等にスピード感をもって対応すべきではないか。

園村経済部長 今後の経済動向を見極めながら、当面「雇用対策本部」を中心に総合的な経済支援に努めていきたい。

「市民所得アップ」のために有効な対策を

西山(宗)議員 2006年度県内市町村所得推計のランキング（県統計協会）で48市町村中12番目、14市で4番目に宇土市がランクされているが、どのように受け止めているか。また、今後の向上のための対策は。

田口市長 市町村所得推計のほかに「家計所得推計」があるが、これは、48市町村中7位となっている。所得推計の算出根拠には、企業の規模や様々な要素が含まれているが、本市の現状をよく分析し、今後さらに上位を目指して対策を講じていきたい。なお、国の緊急経済対策の第2次補正による定額給付金の使途については様々であるが、宇土市内による消費を促進させ、中小企業の活性化にも努めたい。



恵塚町飯塚の段々畑

中山間地域への定住促進対策を



(無所属)

村田宣雄 議員

耕作放棄地実態調査結果、対策について

村田議員 農林水産省は食料の生産基盤である優良農地の確保を図るため、宇土市農業委員会に対し、農林業センサス1411haの実態調査の指示があったが、その結果は。

本田農業委員会事務局長 各区の農業委員により、昨年の8月から9月にかけて調査を実施した。その色別区分として、『緑色』は、人力・農業用機械等で整地等を行う事により、直ちに耕作する事が可能な土地で28・6ha、『黄色』は、基盤整備等を実施して農業利用すべき土地が、11・4ha、総計の40haの耕作放棄地があることが分かった。

村田議員 農業委員会の調査結

果を踏まえ、経済部は、どのような解消計画を策定されたのか。

園村経済部長 解消計画では、導入作物が決まって営農再開する農地が0・5ha、基盤整備後に再開する農地が2・1ha、保全管理の農地が37・4haに分類した。具体的な営農計画の推進については、国県の補助事業と市の単独事業を活用することとし、8・4haを営農再開するよう誘導して行くことにしている。

定住促進対策について

村田議員 施政方針において、定住と交流を促すために、美しい街づくり花いっぱい運動の展開を述べられたが、7校区の5カ年の人口及び世帯数の推移はどうなっているか。

池田総務企画部長 住民基本台

帳における各年4月1日現在の数値に基づき、7校区の現状について説明すると、宇土・花園・轟の東部3地区については、人口・世帯数とも増加しているが、走潟・緑川・網津の中部3地区については、人口は減少しているものの世帯数は増加している。そして、唯一、人口・世帯数とも減少しているのが網田地区となっており、人口で368人の減少、世帯数も25戸の減少となっている。

村田議員 本市の人口減少の動向は、中山間地域（緑川、網津、網田）の中で、特に網田地区が多く、中山間地域の具体的な定住促進対策が必要。（一）団塊の世代を取り入れた対策（二）市外在住者の本市への定住対策（三）交通の要所の地の利を活かした定住対策（四）若い転入者や新婚世帯への定住対策また、本市は崇城大学との協定書を締結しており、限界、準限界集落等の実態調査を依頼し、地域再生のアイデアの提言を受けることなどを要望した。



複合検診 (保健センター)

誰もが安心して利用できる介護制度へ

施設でも居宅でも安心して介護が受けられるよう改善を



(日本共産党)

福田慧一 議員

福田議員

介護保険制度がスタートして10年目を迎える。高齢化が進む中、介護必要者も増えている。しかし、国の社会保険費の抑制の中で介護認定が厳しくなったり、軽度の認定者に対しても介護に必要なベッドや車イスが対象外になるなど、サービスの切り下げが行われている。施設入所者も食費や居住費が自己負担となり、経済的理由で入所できない人もでてくる。国に対し、こうした問題点の改善を求め、施設でも居宅でも安心して介護が受けられるよう取り組みべきではないか。

太田健康福祉部長事務取扱

軽度者の居宅サービスの支給限度額が実質的に引き下げられており、これにより従来受けていたサービスの種類が少なくなる

ので、今後、ケアプランを作成する際、その人に合った適正なサービス計画を作成するよう努めたい。なお、実状に合わない状況については、これまで同様、国・県に要望し、制度の充実を働きかけたい。

介護保険料の値下げと利用料の減免を

福田議員

保険料は、これまで2回値上げされ負担が大変である。保険財政は、値上げと給付費抑制により、19年度決算では1億円の赤字である。保険料の値下げと低所得者に対する利用料の減免を充実すべきではないか。

太田健康福祉部長事務取扱

決算では、1億円の繰越しがあるが、これまで財政安定化基金からの借入金があり、その返済をすると単年度では3千万円程度となる。そのため今回の保険

料改定は、これまでと同額とすることにした。しかし、今回、弾力化という制度を設け、65歳以上の第1号被保険者の約24%の方が基準額より1割安くなる設定になっている。利用料の減免についても介護保険負担限度額認定証の発行を行い、減免を行っており、この制度の周知に努めていきたい。

健康診断の向上を図り市民の健康を守れ

福田議員

市民の健康を守り、国保財政の健全化を図るためにも市民の健康診断にも努め、力を入れるべきではないか。

太田健康福祉部長事務取扱

医療費増加の要因は、多くが生活習慣病である。そのため20年度からスタートした特定健診、保健指導の制度を市民の皆様を理解し、受診していただくことが大切である。この制度の周知を図り、節目健診時の人間ドック実施、他のがん検診との同時実施など、市民が受診しやすい体制を作り、受診率の向上を目指したい。

総務市民

総務企画部・市民環境部・その他を所管

3月9日に総務市民委員会、10日に経済建設委員会、11日に文教厚生委員会を開催し、付託された議案等について審査を行いました。その主な内容は、次のとおりです。



芥川幸子委員長

論議された主なものを報告いたします。

地方バス路線維持補助金について、年々路線バスを利用する方が減る傾向にあり、路線バス事業者に対する運行赤字補填に係る市の補助金が増えているようだが、例えば天草市では、乗合バス、乗合タクシー、あるいは在宅福祉増進の一環として運行路線のない遠隔地を中心に、公共施設等を巡回する福祉バスが運行されている。宇土市としては、そのような取り組みは考えていないのかとの質疑に対し、執行部から、天草市とは地理的条件が違い、天草にはJRもなく、あれだけ広いところにバスを走らせるため相当の負担をされていると認識しています。今後、宇土市では、地域代表の方、バス事業者、タクシー業者の方などで構成される地域公共交通会議で、交通体系をどのようにしていくかなどを審議していただき、いろんな方々の意見を聞きながら、公共交通路線について検討していきたいと考えているとの答弁がありました。

次に、宇土市一般職の職員の給与に関する条例及び宇土市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について、今、民間では給与削減が行われている中、市職員の勤務時間が短縮になるようなことはないのかとの質疑に対し、執行

部から、平成18年度に国家公務員法の改正に基づき勤務時間も変更している経緯があります。基本的に国に準じ条例改正をやってきており、今回、国家公務員の給与、勤務時間に関する法律が改正されたので提案させていただきました。勤務時間が短縮されても市民サービスの低下はまねかないように対応したいとの答弁がありました。

その他、執行部から報告3件がありました。

報告第1号及び第2号の「訴えの提起について」、税務課から、昨年12月議会において、「市税及び国民健康保険税の賦課徴収その他歳入の徴収について生ずる訴えの提起」を、市長の専決処分事項として議決いただいた。その後、直ちに市税滞納者で貸金業者から金銭を借り入れている住民の過払金の返還に向けた手続きに着手し、貸金業者に対し過払金として、2件の合計額106万2,561円及びこれに対する過払金発生の日から支払済みに至るまで年5分の割合による金員を支払うよう、去る3月4日に熊本地裁に提訴しましたとの報告がありました。次に、報告第3号の平成19年度宇土市財政の健全化判断比率（確定値）について、財政課から、昨年9月議会に比率の暫定値ということで、4つの指標を報告しましたが、今回、健全化判断比率が確定し、指標のうち将来負担比率が100.6%になったとの報告がありました。

本委員会に付託を受けました議案については、全会一致で原案のとおり可決。また、平成20年陳情第5号については、全会一致で不採択、平成21年陳情第2号については全会一致で継続審査いたしました。

経済建設

経済部・建設部・農業委員会を所管



堀内千秋委員長

論議された主なものを報告いたします。

水道使用料及び下水道使用料の収納率向上を図る目的で、条例を改正することであるが、水道使用料徴収員、下水道使用料徴収員を雇用し、どれくらい効果を見込んでいるのか。決算審査においても「収納率向上に努めるように」との報告があり、当初予算に徴収員報酬額を計上する上で、前年度よりも収納率をこれくらい向上させたいという数値目標を設定しなければいけない。市の財政が厳しい中、一般会計から繰入れを必要としなくて済むように、また、事業の健全経営ができるように努力してもらいたいとの指摘がありました。

次に、平成21年度宇土市一般会計予算に關し、質疑、意見がありました。

花いっぱい運動経費は、前年度に比べると160万円ほど増額になっているが、市民に対し、具体的にどのような形で事業を展開していくのかとの質疑に対し、執行部から、今までは公共空地などに花苗を植えていましたが、21年度は、さらに中心市街地が活性化するように取り組みを考えたいと思っています。内容については、商工観光課や商工会、関係各種団体などと協議を進めて行く予定であり、まだ決定までには至っていませんとの答弁が

ありました。これに対し、事業内容を検討した結果、予算を増額したのではないのか。増額の根拠はないのかとの質疑に対しては、昨年、市政施行50周年記念行事で世界のあじさい展が開催されましたが、花いっぱいのもちづくりを、より効率的に進めるためには都市計画課で行った方がいいのではないかとこのこと、今回、150万円の予算措置を行い、事業内容については、これから検討していきますとの答弁がありました。

また、委員から、花いっぱいのもちづくりを目指すためには、先進事例を参考にしながら、特色のあるまちづくりを考えていかなければいけないとの意見がありました。

次に、コミュニティハウス事業は、お地藏さん工房講座、硯（すずり）製作教室を年間5期開催し、ほぼ満員の状況であるとのことだが、ハード面が多い中心市街地活性化事業の中で、ソフト面での事業は需要があると思われるため、希望者が多いのであれば定員を増やしてはどうか。また、コミュニティハウスが狭いのであれば、他の空き店舗や利用者が利用しやすいような場所で開設するなど、事業が拡大するような取り組みを考えてはどうかとの質疑に対し、執行部から、事業開始当時、空き店舗が現在の場所しかなく、選択肢がありませんでしたが、現在は、空き店舗も増えていますので、考えていかなければいけないと思っていますとの答弁がありました。本委員会に付託を受けました議案については、全会一致で原案のとおり可決。また、陳情第1号については、全会一致で継続審査いたしました。

文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管



村田宣雄委員長

論議された主なものを報告いたします。まず、国保特別会計は、近年、一般会計からの基準外繰出しが増加傾向にある。その抑制策として特別会計内の収支が完結できるように検討をするように意見がありました。

次に、特定健診について、現在、7校区の内、市内4箇所（市保健センター・花園・網津・網田）で健診が実施されているが、受診率は10%台で国が示している平成24年度までに65%の達成は非常に難しいと思うが、受診率を上げるために7校区全ての地区において健診の実施はできないか質疑があり、執行部から、検診車が大型車両のため出入りができない等の問題で実施できず、受診率を上げるための対策として、21年度は複合検診という形で、特定健診とがん検診を一緒に実施します。また、農業者の方は農閑期が8月頃で、是非そういう時期に実施して欲しいと意見もありますので、1回目を4月に実施し、追加を8月頃に実施するところ、計画をしていますと答弁がありました。

次に、「学力向上支援事業」が21年度から新規事業として予算計上されているが、どのような事業内容かと質疑があり、執行部から、学力向上指導員（校長OBなど）を雇用し、市内の小中学校等に派遣して、定期的な授業改善指導等を実施することにより、教職員

の授業力を高め、学校全体の教育活動の充実を図り、児童生徒の学力向上に繋げて行きたいと答弁がありました。

次に、「そろばんの時間」に力を入れているが、どういった効果があるのかと質問がありますが、執行部から「そろばん」の専門家に依頼していますが、姿勢が良くなり、集中力が増し、算数の計算が速くなるだけでなく、他の教科にも良い効果がありますと答弁がありました。次に、委員から全国学力テストがあったが、学校図書と学力は関係が深いと思う。図書の蔵書率について、各学校不公平感がないようにお願いしますと要望がありました。

次に、委員から、宇土小・網津小学校の改築工事が今年度から実施されるが、都会では屋上に芝生を張る等エコ対策が行われているが、金の掛からないエコ対策は何か考えているのかと質疑があり、執行部から、改築検討委員会で意見が交わされたが、屋上芝生等については、管理の問題等で採用されませんでした。しかし、太陽光発電は、後で対応できるようにしていますと回答がありました。

次に、委員から「指定文化財の保存整備対策」について、現在、国指定2件・県指定9件・市指定106件の指定文化財があるが、特に市指定文化財106件は、相当 傷んでいる物が見受けられる。保存整備について検討をされるよう要望がありました。

本委員会に付託を受けました議案第21号・第22号・第29号・第31号については賛成多数で、その他の議案は全会一致で原案のとおり可決いたしました。

地域高規格道路促進等対策特別委員会



岩本廣海委員長

2月5日の特別委員会において、国交省熊本河川国道事務所より仮称宇土道路（城塚～網田）概略計画ルート（案）について説明。

国交省サイドとしての案がまとまったため、網田、網津地区で意見交換会を開催予定。道路の概ねのルート検討範囲と計画の基本的な考え方を示し、今後、計画検討を進める上で留意すべきこと、道路に期待することなどについて、地域の方々から意見を伺い、アンケート調査も考えている。ホームページでもアンケート調査を実施し具体的検討を行う上で参考にしたと考えているとのことでした。

以上の説明に対し、論議された主な内容として、委員より、以前、網津地区住民からインターチェンジ建設の要望があっており、検討していただけなのかとの質疑に対し、国交省より、幅員が狭い現在の県道を改良して接続できれば可能性がないとは言いませんが、現状では難しいと思っています。距離的な問題で城塚インターに近いという問題もあります。高規格道路が供用開始となれば、国道57号を通過する車両は減少し、現在よりも通りがよくなるため、地元の人たちの利便性は向上すると思いますとの説明がありました。

この他、国道57号の交通量は24時間で約24,000台、土日、祭日になるとまだ多いと思われるため、救急車、消防車などの緊急

車両の往來に支障をきたさないように早く着工してもらいたい。そのためには予算の獲得をお願いしたいとの要望がありました。

次に、3月3日の特別委員会において、取り組み状況および国交省熊本河川国道事務所との協議内容について、執行部より説明。

まず、熊本・宇土道路（海路口～城塚）の用地取得の進捗はあっていない。工事の状況については、試験盛土の工事を3月末完了予定で、観測は来年度以降も継続。また、農免道路より北側部分の用排水路のボックス敷設工事を1件発注済みで、工事は10月末に完了予定。この他に、3件の工事を3月に発注予定。橋梁については、現在、河川との事前協議中であるとの説明がありました。

また、（仮称）宇土道路（城塚～網田）について開催された意見交換会では、「網田インターチェンジまでのアクセス性を高める道路整備を望んでいる」「網津にもインターチェンジを設置してほしい。」などの意見でしたとの報告が執行部よりありました。

以上の報告を踏まえ、論議された主な内容として、委員より、試験盛土の工事は、どれくらいの期間が必要なのかとの質疑に対し、執行部より、地盤がどれ位沈下するか、どれ位の期間で安定するか調査中ですが、2、3年位ではないかと聞いています。軟弱地盤のため、それ以上かかるかもしれないという状況ですとの説明がありました。また、用地交渉が進んでいないが、交渉は難航しているのかとの質疑に対しては、特にそのようなことは聞いていませんとの説明がありました。

平成21年第1回宇土市議会定例会議決結果一覧

【市長提出議案】

番号	件名	提案月日	議決月日	議決の結果	付託委員会
第1号	宇土市一般職の職員の給与に関する条例及び宇土市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	3月2日	3月18日	原案可決	総務市民
第2号	宇土市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃	〃
第3号	宇土市次世代育成支援対策推進協議会設置条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃	文教厚生
第4号	宇土市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例について	〃	〃	〃	〃
第5号	宇土市介護保険条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃	〃
第6号	宇土市就業改善センター条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃	経済建設
第7号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	〃	〃	〃	〃
第8号	藩窯網田焼復元検討委員会設置条例について	〃	〃	〃	文教厚生
第9号	宇土市道路線の廃止について	〃	〃	〃	経済建設
第10号	宇土市道路線の認定について	〃	〃	〃	〃
第11号	訴えの提起について	〃	〃	〃	総務市民
第12号	平成20年度宇土市一般会計補正予算（第6号）について	〃	3月2日	〃	
第13号	平成20年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	〃	3月18日	〃	文教厚生
第14号	平成20年度宇土市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃	経済建設
第15号	平成20年度宇土市奨学基金特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃	文教厚生
第16号	平成20年度宇土市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）について	〃	〃	〃	経済建設
第17号	平成20年度宇土市老人保健医療特別会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃	文教厚生
第18号	平成20年度宇土市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	〃	〃	〃	〃
第19号	平成20年度宇土市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	〃	〃	〃	〃
第20号	平成20年度宇土市水道事業会計補正予算（第3号）について	〃	〃	〃	経済建設
第21号	平成21年度宇土市一般会計予算について	〃	〃	〃	総務市民 経済建設 文教厚生
第22号	平成21年度宇土市国民健康保険特別会計予算について	〃	〃	〃	文教厚生
第23号	平成21年度宇土市簡易水道事業特別会計予算について	〃	〃	〃	経済建設
第24号	平成21年度宇土市北段原土地区画整理事業特別会計予算について	〃	〃	〃	〃
第25号	平成21年度宇土市奨学基金特別会計予算について	〃	〃	〃	文教厚生
第26号	平成21年度宇土市公共下水道事業特別会計予算について	〃	〃	〃	経済建設
第27号	平成21年度宇土市老人保健医療特別会計予算について	〃	〃	〃	文教厚生
第28号	平成21年度宇土市土地取得特別会計予算について	〃	〃	〃	経済建設
第29号	平成21年度宇土市介護保険特別会計予算について	〃	〃	〃	文教厚生
第30号	平成21年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計予算について	〃	〃	〃	経済建設
第31号	平成21年度宇土市後期高齢者医療特別会計予算について	〃	〃	〃	文教厚生
第32号	平成21年度宇土市水道事業会計予算について	〃	〃	〃	経済建設
第33号	平成20年度宇土市一般会計補正予算（第7号）について	〃	〃	〃	総務市民 経済建設 文教厚生
第34号	平成20年度宇土市一般会計補正予算（第8号）について	3月5日	〃	〃	総務市民 経済建設 文教厚生
第35号	平成20年度宇土市介護保険特別会計補正予算（第4号）について	〃	〃	〃	文教厚生
第36号	平成21年度宇土市一般会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃	総務市民 経済建設 文教厚生
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	3月18日	〃	原案答申	

【報告】

報告番号	件名	報告月日
第1号	専決処分の報告について 専決第1号 訴えの提起について	3月2日
第2号	専決処分の報告について 専決第2号 訴えの提起について	3月2日
第3号	平成19年度宇土市財政の健全化判断比率（確定値）について	3月2日

平成21年第1回定例会陳情議決結果

	受理番号	陳情の件名	付託委員会	議決結果
陳情	平成20年 5	消費税増税に反対し、住民税を元に戻し、社会保障の充実を求める陳情書	総務市民	不採択
	平成21年 1	「〈協同労働の協同組合法〉の速やかな制定を求める意見書」採択を求める陳情	経済建設	継続 審査
	平成21年 2	地方切り捨ての地方分権・道州制は行わず、安全・安心な国土づくりを国に求める陳情書	総務市民	継続 審査

議会を傍聴しませんか

市議会では市民の皆さんの生活に密着した問題が審議されています。
身近な市政を知るために、ぜひ一度傍聴してみませんか。

- ◇議会傍聴席は市役所議会棟2階の議場内にあります。傍聴席入り口で必要事項をご記入の上、席へお着きください。また、委員会傍聴については議会事務局にて受付をお願いします。
- ◇本会議の傍聴席の定員は50人です。
- ◇委員会傍聴については、委員会室の広さ・審議内容等により人員及び傍聴を制限する場合がありますのでご了承ください。
- ◇原則として、本会議、委員会は午前10時開会ですが、議事の都合で変更する場合があります。
- ◇本会議傍聴の際は、傍聴席入口に掲示の注意事項をお守りください。



議会の日程や傍聴に関するお問い合わせは、
議会事務局まで TEL22-1111（内線2611）

編集後記

文豪ゲーテは、「人にはいつも励ましが必要なのです」と述べている。ゲーテ自身も、小さな事でも褒め讃え、元気づけ、励ます名人だと言われている。

日本人は、「頑張れ！」と励ますが、アメリカ人は、“You can do it”「あなたならできる」と表現していて、非常に楽観的な言葉で、感動したと経済学者の竹中平蔵氏が語っていた。

ある日、友人からメールが届いた。思わず、ゲーテのように「あなたならできるよ」と、元気づけ、励ましていた。



市議会からのお知らせ

市のホームページで、本会議の議事録を公開しております。

公開内容は、本会議（定例会・臨時会）の議事録です。

【アドレス】 <http://www.city.uto.kumamoto.jp>

【お問い合わせ】 0964-22-1111 内線2611

本会議の議事録（冊子）は、市情報公開コーナー（市役所1階ロビー）、市立図書館で閲覧できます。

なお、平成21年第1回定例会の議事録は、次回、平成21年第2回定例会以降、閲覧可能です。

◎生中継（ライブ放送）

議会開会中、本会議（定例会・臨時会）の様を生中継で市役所1階ロビー・網津支所・網田支所に設置されているテレビモニターでご覧になれます。